

令和2年度
飯南町総合振興計画等評価委員会
答申書



令和2年5月12日 コロナ禍でも変わらぬ姿を見せる赤来高原のぼたん

令和2年9月11日

令和2年度 飯南町総合振興計画等評価委員会

1 はじめに

令和2年度の評価委員会では、前計画となる「第2次飯南町総合振興計画前期基本計画（平成28年度～令和元年度）」「第1期飯南町総合戦略（平成27年度～令和元年度）」を総括する形で評価を行っています。

令和元年度の施策実施状況について説明を受け意見交換を行うとともに、これまでの成果について確認をいたしました。

答申書の作成にあたり、地域住民や各種団体から選ばれた幅広い委員の意見を取りまとめておりますので、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりのための政策・施策の検討資料、また令和2年度よりスタートした「第2次飯南町総合振興計画後期基本計画」「第2期飯南町総合戦略」の施策推進の参考資料として皆様にご周知いただきますようお願いいたします。

2 評価の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、「飯南町総合振興計画」並びに「飯南町総合戦略」の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するとされています。

同要綱に沿い、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行いました。

3 評価の方法

飯南町総合戦略を中心に、施策の状況や進捗などを所管課から説明を受け、意見交換を通じて評価委員より助言・提案を行いました。

また、地域住民等への施策説明などを行う際の参考になるものと考え、委員から出た質問についても取りまとめています。

4 評価の状況

1) 評価委員による総評

子育て支援については、大変充実した支援や対策が講じられていますが、各課との連携が弱く、それぞれの動きとなっており住民への周知が弱いという評価がありました

子育て支援を含め、他の施策についても各課が調整して情報発信をし、必要な方に必要な情報が届くよう周知方法をご検討ください。

2) 総合振興計画等目標指標の状況（抜粋）

目標指標	基準値 (H26)	令和元年 実績値	基準値 比較	目標値 (R1)
出生数	137人／5年 年27.4人 (H22-26)	119人／5年 年21人 (23.8人/年)	↓	180人／5年 年36人 (H27-R1)
社会増減数	-13.2人／年 (H22-26)	-6人／年 (±0人)	↑	+5人／年 (H27-R1)
出会いの場の創出 からの相談件数	10件／年	16件／年	↑	20件／年
婚姻数	14組／年 (H22-26)	16件／年 (14.6組/年)	↑	20件／年 (H27-R1)
飯南高校生徒数	188人	174人 (189人/年)	→	180人以上
UIターン 移住者数	35人／年 (H22-26)	46人／年 (47.4人/年)	↑	53人／年 (H27-R1)
入込観光客数 (旧調査)	293,007人	325,514人	↑	350,000人

※令和元年 実績値 カッコ内は H27-R1 年の平均値

3) 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※飯南町総合戦略に沿って記載

施策1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策1 結婚への意識を高める
【意見・提案等】 若者の交流の場を広げる ○「若者が考えるこれからの地域づくり会議」(仮称)事業 ・座学形式での学びあい、交流する場も必要だが、よりインフォーマル(非公式)な形式で自由に交流する場も必要である。仕事や家庭とは別の場所が充実しているかどうかで、若者世代に限らず、新たな人と人とのつながりやアイデアが生まれやすいため、そういった場所づくりを検討すべきである。 ・人材育成塾などの回数や参加者人数だけの報告ではなく、会を追うごとの参加者の変化や発展が見えることが目的となるため、状況についても報告して欲しい。 ○公民館が連携した「若者交流イベント」事業 ・毎年同じ企業に依頼せず、他の企業へ依頼するなどして事業のクオリティアップを図ってはどうか。

施策1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策2 結婚の希望をかなえる
【意見・提案等】 出会いの機会を創出する ○縁結び支援員事業 ・ご縁結びに参加する人たちが似通ってきているのでは。町外の参加者を交えての組み立てをし、婚姻数も増加しているが、町内の若者の希望にこたえられているのか心配である。 ・何回イベントを行ったという結果も必要だが、参加者の状況を見つつ、踏み込んだ対策とフォローが必要と思う。 結婚・出産に関するお祝い金を支給する ○結婚・出産祝い金 ・令和2年度より事業が拡充され、3人目の出産を考えてみようかという声も聞くようになった。 ・飯南町は、結婚から出産・育児まで大変制度が充実しているが、これらを外部へ発信していない。 ・手厚い助成事業をしっかりと内外にPRすることで、定住施策やUIターン施策など他の施策とともに関連し非常に有効な手段になると思う。

【質問等】

- ・縁結び事業では、婚姻に向けてどういった取り組みをしているか。

Ans：イベントの前にセンスアップセミナーを実施して自分磨きをしている。年代も30代、40代、50代と分けて行っている。また早い段階から結婚に対する意識を高めるため、20代の支援も行うようにしている。

- ・出産祝い金は令和6年度まで実施すれば、その後は無くなるのか。

Ans：事業は、総合振興計画の計画期間を基本に進めている。そのため、次期総合振興計画にて必要という事になれば検討して継続することもある。

施策1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

政策3 女性の出産・子育ての希望をかなえる

【意見・提案等】

家庭・地域で子育てできる環境づくり

○3世代家族支援事業

- ・3世代で生活するのは理想的であるが、3世代世帯が少なくなっている。若い方も実家に戻りたくない方もいるのではと思われるため、単身や核家族への支援も検討してほしい。
- ・利用者が少ないため、3世代住むための住宅整備助成制度があるからと提示して待つのではなく、3世代で住むにはどういった制度が必要かを調査すべきである。支援がマッチしているかどうかの検証が必要である。

○ほっと。Café事業

- ・ほっと。Caféに参加した保護者に対して、ファミリーサポート事業や子育てに関する情報提供を行って欲しい。町の情報発信の場として、横の連携を密にして進めて欲しい。

○子どもの遊び場事業

- ・子どもを遊ばせる場所がないと聞く。地元の方、観光の方が一緒に遊ぶことができる場所を作って欲しい。
- ・保育所の園庭を開放されても、通所する保育所以外や町外者は入りにくい。

子育て世帯への経済的支援

○子ども医療費無料事業、保育料軽減事業

- ・国の制度と町の制度を組み合わせ、全年齢の保育料（副食など含む）無料化や中学生以下の医療費無料など、子育てをする上で大変充実した支援が講じられている。

【質問等】

- ・建物改修でバリアフリー化するための補助事業はあるか。

Ans：飯南町独自でバリアフリー化に対する事業はないが、島根県や社会福

祉協議会での事業はある。建設課では、下水道の接続や3世代居住、エコリフォームについて補助を行っている。

- ・総合医ではあるが、専門外の方に診てもらうのは心配になる。総合医はどのような育成がされているのか。

Ans：飯南病院では、マインドとしてすべての患者を診るという事で取り組んでいる。総合医として様々な研修を行うこととあわせて、総合医プラス何か専門的な分野を持つようにしている。

全部診るという事を前提にしているが、全部を見切れない場合は専門の医師に依頼できるよう他の病院とも連携している。

- ・イクメン育成事業について、飯南町の男性は、保育所の行事にも積極的に参加し、育児についても参画をされている方が多くいると感じる。できているのに、あらためて項目を立てて事業に取り組むというのは疑問に思う。今後どう考えているか。

Ans：イクメン育成事業については、男女とも子育てに参画するという理由で取り組んではいた。今後は、イクメン育成事業とせず、家族・地域で子育てする環境づくりが必要となるため見直したい。

施策2 飯南町への新しいひとの流れをつくる

政策1 地域魅力の発掘・発信

【意見・提案等】

地域資源の掘り起こし・PR

○飯南魅力発信体制強化事業

- ・観光協会に外部専門家や企業団体、町民有志を入れて魅力発信するとしているが、「R54 魅力発信事業」も別の団体として同じような取り組みをしている。主体を観光協会にして運営すれば重複もなくなり一元化できるのでは。

○R54 魅力発信事業

- ・近年、道の駅の周辺にホテルを整備する動きがあるが、飯南町の両道の駅には近くにホテルがあり、大変先進的である。滞在して道の駅と宿泊所、その他周辺施設を連携し、まとまった動きを作りたい。
- ・町内のさまざまな方が関わって事業を進めているが、行政主体のため自主財源も作れないし、メンバーも増えないため発展しにくい。社団法人など立ち上げ、行政からの委託を受けつつ、独自に収益を得ながら進めていく形になれば新たな工夫や考えも生まれてくると思う。

U I ターンの推進に向けた情報発信

○U I ターンの魅力発掘事業

- ・定住対策は、どの市町村も行っている中で、飯南町は担当者の良さとメディ

<p>アにも取り上げられて注目され、結果として効果が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅など建築してU I ターン者を迎え入れることはするが、来られた方が地域の方と関わっていけるようフォローを行って欲しい。
<p>【質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U I ターンをしても出ていく方もいると思うが、どういう所がネックになり出ていくのか。 <p>Ans：仕事がネックになることが多い。仕事の内容と併せて、最近の子育てしやすい環境を整える企業も出てきており、働く内容と併せて働く環境の良さ（働き方）について説明するようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人はどこも足りないと思うが、U I ターン者で合致することが少ないのか。 <p>Ans：仕事内容が合わないことが多い。これまで働いた経験を持つ方が多いためこだわりがある。なんでもやりますという方もいるが、続かない方が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南町の空き家はどのくらいあるのか。 <p>Ans：平成 30 年での調査では、約 300 戸ある。その内空き家バンクは 130 戸登録され、内 70 戸は住まれている。年々空き家は増えてきている。</p>

<p>施策 2 飯南町への新しいひとの流れをつくる</p>
<p>政策 2 飯南町のファン拡大</p>
<p>【意見・提案等】</p> <p>地域資源を生かした集客・交流事業の支援</p> <p>○三十路式事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南町民だからこそ楽しめる方法をしっかりと考え、町外へ出た方の心にしっかりと刻まれる演出をすることで、Uターンを考えるきっかけになりやすい事業ではと思う。

<p>施策 2 飯南町への新しいひとの流れをつくる</p>
<p>政策 3 定住の促進</p>
<p>【意見・提案等】</p> <p>U I ターンの受入れ体制の充実</p> <p>○地域おこし協力隊受入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ側も業務の一コマを埋める受け入れ方でなく、入った方が何を求め、何を考えてきたのかを見てあげる必要がある。 ・町内外で活躍する協力隊同士の交流や、受け入れ側との連携サポートができるシステムがあればよい。

○高度技術者確保事業

- ・地域おこし協力隊のように、起業して定住という考えを入れ、役場内で任期付きで終わらせず、育成して将来的には起業や町内企業へ送り出す仕組みを作り出してはどうか。

住環境の整備

○定住促進賃貸住宅事業

- ・定住住宅では、ペットも家族の一員となるため、ペットが飼える住宅も検討して欲しい。
- ・住宅寿命の短い定住賃貸住宅を用意し、最終的に個人へ譲渡する頃になると住居の耐久年数が限界となる。結局住み続けることが出来なくなってしまいうため、真剣に移住を考える人だと迷惑になるのではないかな。

○住宅整備助成金事業

- ・町外の方が移住する際の住宅整備について、町外のハウスメーカーの発注が多くなっていることを地域の工務店に戻すことが重要。安い方へ流れてしまう傾向にあるため、住宅整備などの支援策を強化しては。
- ・ハウスメーカーのニーズと町内建築業社へのニーズのコントロールは行政でなく、町内建築業者が考えて取り組むべき内容である。町外ハウスメーカーに対抗するため、町内企業をサポートすることを行政は考えて取り組むべき。
- ・住宅整備を望む家主（住民）ではなく、建築業者への指導とサポートが必要である。

○用地確保・造成事業

- ・私有地も住宅整備のため確保するとあるが、連坦地の中に空いたところがある。これを更地にして再度使っていくことや、住宅を各地に散らばらせずにとまって整備していく事が必要では。

○遊休定住住宅活用事業

- ・連坦地の空き家活用と技術者の育成を目的に、若い大工がリフォームなど実習するフィールドとして提供し、改修しては貸し出すなどの取り組みをしてはどうか。
- ・DIYが好きな方を集めて、大工と一緒に改造、修繕していく取り組みをしてはどうか。DIY研修やツアーのように進めても面白いのではないかな。

○都市部からの高齢者受入事業「日本版CCRC」

- ・クラインガルテンを参考に高齢者移住の受入れをと記載しているが、運営として成り立つのか検証をすること。
- ・志津見のクラインガルテンが成功しているのは、人を受け入れるマインドがあるためである。志津見以外の地区でもこれが出来るのかが気になる。

- ・他地域から来た方にとって、地域との連携については誰に声をかけてよいかわからないため体制の整備を行って欲しい。
- ・高齢者移住では、医療や福祉の体制、買い物を含め暮らしやすい環境が大切となる。医療福祉人材の確保と併せ、早めの対策と体制整備が必要である。
- ・早めにサービスを整えて発信することが重要であり、各医療福祉機関とも連携して進めてみればと思う。大変面白い取り組みになると思われる。

【質問等】

- ・住宅整備で、連坦地にも空いたところがある。ここに整備してはどうか。
Ans：隣との間隔があまりないと嫌がる方も多い。ある程度まとまった土地があれば賃貸住宅を整備する考えで取り組んでいる。
- ・新築などした時の支援事業はあるか。
Ans：建築時に金融機関からお金を借りた際の利子分について支援している。上限は50万円。
- ・単身での移住支援や単身住宅の整備は行わないのか。
Ans：単身住宅は、ニーズがあるように感じるが入居されない場合が多い。もう少し状況把握や調査をしてから検討したい。
- ・飯南町にしっかりと根付いてくれる仕組みづくりは。
Ans：農業者やUIターン者など、各地区で動きが見えている。行政としても住民同士の連携強化をバックアップしていく。

施策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる

政策1 夢と希望の持てる飯南農業の実現

【質問等】

- ・畜産農家から牛を預かって欲しいという要望も多くなり、農家も高齢化して牛を手放したいという方も増えている。逆に牛を飼いたいという方は出てこない。町として何か対策を考えているか。
Ans：若手で頑張っている畜産農家が、意欲をもって続けられるよう支援していく。令和3年度から5年間で期間とした農業振興計画を策定する。畜産の後継者育成についても盛り込みたい。
- ・地域振興課や住民課では個人に対する支援策が充実している気がするが、産業振興課は少ない感じであるがなぜか。
Ans：農業については、中山間直接支払事業など農業法人や団体の基盤を整える支援を行いつつ、担い手の確保をする対策を行っている。農業分野では担い手確保として農業定住研修制度も設けている。

施策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる

政策2 観光関連産業の拡大

【意見・提案等】

観光消費額を高める商品開発

○飯南ブランド構築事業

- ・i まるシェに人が入っている雰囲気を感じない。隣にゆめタウンがあり、消費者としては極力1カ所で買い物を終えたい心理もある。収益が少なければ、今後の活用についても検討すべきである。

○海外観光客誘客事業

- ・新型コロナウイルスにより状況が一変したこともあるが、今後のインバウンド客をターゲットにするより、原点回帰で近隣からの集客にシフトしてはどうか。

【質問等】

- ・i まるシェの収益はどのくらいか。

Ans：年間2,300万円となっている。

- ・i まるシェの経営改善について。

Ans：昨年度からコーディネーターを配置して進めている。野菜については前年対比120%となった。キノコについても、近隣の飲食店に声をかけ、使ってくれるところも出始めている。

施策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる

政策3 「しごと」場の維持・創出

【意見・提案等】

若者の起業・就業支援

○遊休施設活用事業

- ・公共施設だけでなく、空き家の活用も検討し、持ち主との交渉もしっかりと行うべきである。

里山の暮らしを守る仕事づくり

○「森林」を活かした地方創生事業

- ・町産材を住宅に使っていく事は理想であるが、まずは、地元建築業者の施工費用を行政にてサポートし、個人で希望する住宅を建てる流れを作ることが必要ではないか。

多様な就労環境の創出

○企業誘致推進事業

- ・インターネット環境充実事業にもあった、チャレンジオフィスについて、行政が主になって行うべきか、民間が主となり行政がサポートしていくべき

かを検討して欲しい。民間が主となった方が良いのではと思われる。

○公共サービス民営化事業

- ・アウトソーシングは、行政がスリムになるだけで業者に出しても雇用拡大につながっていない場合もある。企業側の事業拡大や雇用確保となるような出し方を考えて進めて欲しい。
- ・指定管理制度など含め、受けた民間側が成果を出せば追加で支援するなど行ってみては、いろいろな仕掛けを作り、引き受けたいという企業を集めていくことが今後は必要となる。
- ・(アウトソーシングは) 社団法人など、行政の委託を受ける団体を作り、観光協会と違う枠組みで動いた方が雇用創出になる気がする。

【質問等】

- ・水道事業のアウトソーシングはどの程度出していく考えか

Ans：運営をすべて出していく事は、水道料金の高騰につながる可能性もある。職員が通常管理している部分の一部を任せるとを検討している。

- ・チャレンジオフィスはどの程度進んでいるのか

Ans：赤名地域にある空き家を活用し、チャレンジオフィスとして起業を促している。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策1 安心して長生きできる環境づくり

【意見・提案等】

医療・福祉・介護人材の確保

○医師確保事業

- ・医師の実習についても、飯南病院だけでなく、別の場所で研修できるようになるとモチベーションが上がるのでは。

○医療・介護人材確保事業

- ・専門性の高い職業で、学ぶにも授業料が高いため大変助かる制度である。
- ・スタッフを集めることと併せ、働く方のモチベーションが高まる対策を行って欲しい。
- ・支度金支給とあわせて、県外町外から中途採用（ヘッドハンティング）するための事業も考えてみては。
- ・飯南病院の体制を整備するには難しいところもあるため、全国の医師と連携し、リモートでつながり、その都度空いている医師がリモートで患者を対応していく事ができないか。行政も内部だけでなく外部との連携を考え進めていく時期ではないか。

【質問等】

- ・医療・介護人材育成事業の支援対象は町内の方のみか。

Ans：将来飯南町にて働くことが可能であれば、町内外問わず対象としている。その他、助成金を使われなくても、飯南町にて働き始めた方には支度金を支給している。

- ・その他、医療や介護人材の確保について行っていることは無いか。

Ans：外国人の雇用について、飯南町福祉施設協議会・養成学校・行政と協定を結び、外国人の介護福祉士を要請して雇用する形を検討している。しかし、コロナウイルス拡大防止のため、一時中断している。

- ・リモートによる診療はできないか。

Ans：リモート診療でも診療室や、その分のスタッフが必要となる。現時点では難しいが、電話による診療は行っており、少しずつではあるがリモート診療の実現に向け考えていく。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり

【意見・提案等】

特色あるキャリア教育の推進

○飯南仕事体験事業

- ・飯南町内にもさまざまな仕事があるのに、知らずに出て行ってしまいう事もある。小中学校、高校生も引き続き仕事体験を通じ、企業の紹介や働くことの意義について学ばせるようにして欲しい。

○国際人育成事業

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため海外へ行くことは難しくなっているが、リモートで海外の方と交流するなど考えて欲しい。
- ・以前、ドイツ人が来られたことがあったが、逆に海外の方が日本の文化に触れさせる機会をつくるため、受け入れ態勢を整備することも考えて欲しい。

○飯南高校魅力化事業

- ・高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みを作ることはぜひ進めて欲しい。
- ・卒業生との関りを作るため、卒業生がどのような内容と頻度であれば参画したいと思うのかを調査し、具体的な対策を組み立てて欲しい。

【質問等】

- ・タブレットについては、すべての生徒に配る予定はあるのか。

Ans：現在は各学校に1学級分あるが、国が進めるGIGAスクール構想として1人1台を令和2年度に整備することになっている。教職員 72台、児童生徒 381台を整備予定。

・国際交流員の配置は行わないのか。

Ans：以前、国際交流員を配置していたが、コロナのこともあり手を挙げても確保が難しい状況にある。現在は、町内に赤来地域、頓原地域にそれぞれALTを1名配置している。学校の授業や、今後は保育所にも訪問するようにしていき、国際交流を進めていきたい。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策3 不便を感じない生活基盤の整備

【意見・提案等】

「小さな拠点」の形成

○道の駅機能強化事業

- ・コロナ禍で、大きな移動ができない状況であるため、車でちょっとした旅行を楽しむようになっている。道の駅にまず行ってみようという仕組みや魅力を高めていく必要がある。
- ・道の駅の駅長を中心に、おむつの自動販売機が設置されたと聞いた。道の駅内にも授乳室が設置され大変すばらしい動きである。

生活インフラの維持・改善

○インターネット環境充実事業

- ・コロナ禍でもテレワークにより仕事ができる状況にある。どこに住んでも働ける状況があるため、飯南町に住んで働ける形になるよう施策を進めて欲しい。

○運転免許返納者支援事業

- ・地方だと免許がないと死活問題ではと思われる。行きたいところに自由に行ける対策をしっかりと行って欲しい。

【質問等】

- ・自治区単位で集落實態調査が行われたが、その後の状況や動きはあるか。

Ans：公民館エリアでサロンが行われ、赤名地区ではスノーヘルパーの動きも出ている。ほかの地区でも動きが出そうな状況がある。

- ・頓原地内に冬季宿泊施設を設置するという事を聞いたが、今はどうなっているか。

Ans：冬季宿泊施設という考えもあったが、冬季のみというのも運営上どうかという事もあり、今後も検討していく。

- ・公共交通で松江飯南間は、飯南の方を松江に運ぶことが主なのか、それとも松江の方を飯南に来てもらうことが主なのか。

Ans：住民視点に立ち、松江や出雲へ通院などで向かう事を主で考えている。ニーズとしては少ないが、全くアクセスを無くすことはできないと考え

ている。

- ・住民の自由に移動できる方法についての対策は。

Ans：デマンドバスやタクシーチケットを販売している。どちらも電話をする必要があり、面倒に思う方もいる。より分かりやすく使いやすい交通機関を組むため検証しつつ進めていきたい。今年度には地域公共交通計画を策定する。

- ・運転免許証返納者は年間でどのくらいいるのか。

Ans：免許返納者の正式な人数は把握できないが、返納された方で運転免許返納者支援事業に申請された方は、R2年4月以降で15名。

その他 意見等

○学校給食について

- ・保育所や学校で使われている食材や調味料について安全安心な物であることはもちろんだが、**飯南町は、恵まれた農業地域にて子どもたちが安心して食べられる給食を提供していることをPRして欲しい。**
- ・都心では、オーガニック給食が流行っている。学校教育の魅力と併せ、安心して育てられる環境を表に出し、定住促進のツールにしてはと思う。

5 評価委員会の開催日程と時間

開催日：令和2年8月7日（金）

場 所：飯南町役場 2階会議室

時間と説明する事業数

- 13:30～14:16 全体説明、企画財政課 2事業(46分)
- 14:16～14:27 総務課 3事業(11分)
- 14:27～14:38 建設課 1事業(11分)
- 14:38～15:10 地域振興課 30事業(32分)
- 15:10～15:25 休 憩(15分)
- 15:25～15:55 保健福祉課・福祉事務所・飯南病院 16事業(30分)
- 15:55～16:25 住民課 22事業(30分)
- 16:25～17:00 産業振興課 30事業(35分)
- 17:00～17:20 教育委員会 12事業(20分)

6 添付資料

- ・平成27年～令和元年 総合振興計画・総合戦略 実績数（資料2）
- ・令和元年度地方創生推進交付金事業実績及び令和元年度事業
国立公園「三瓶山」を核とした観光振興（資料3）
森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト（資料4）
学校を核とした官民協働による地方創生プロジェクト（資料5）
学校を核とした新たな人づくり・人の流れプロジェクト（資料6）
- ・飯南町総合戦略の施策実施状況報告書（資料7）

7 令和2年度 飯南町総合振興計画等評価委員会

委員氏名	所 属 等	備 考
大島 健	公募による住民	委員長
加集 淳子	公募による住民 (R2.7 まで地域おこし協力隊)	副委員長
田中 稔	公募による住民	
吾郷由美子	飯南町社会福祉協議会 地域福祉課 課長	
星野 正雄	飯南町商工会 事務局長	
高橋 彰治	飯南町PTA連合会 会長	
徳永 光子	(株)山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長	
杉谷 健司	山陰中央新報社 経営企画局 コンシェルジュ局開設準備室長 (局長職)	
貫田 理紗	島根県中山間地域研究センター 地域研究科 研究員	
大塚明日美	J Aしまね 雲南畜産総合センター	